管内から３名が受賞 秋田県優良水稲種子生産共励会

▲ 受賞した佐藤さん（左）、荒木さん（中）、三熊さん（右）

種子生産農家の優良種子に対する認識と生産技術を高め、秋田米の商品性向上を図るため、秋田県産米改良協会が平成４年から毎年開催している優良種子生産共励会。今年は管内から３名の生産者が受賞されました。

秋田県産米改良協会長賞の優秀賞を荒木孝広さん（朴瀬）が受賞したほか、同賞奨励賞を三熊浩二さん（朴瀬）と、佐藤義博さん（四日市）が受賞されました。また荒木さんは、特別賞の秋田県農業協同組合中央会会長賞も受賞されるなど、管内生産農家の質の高さが証明されました。

徹底した飼育管理で 安全・安心な白神和牛を

▲ 平成 23 年度へ向けた協議を行う会員ら

藤里町のふじみやで４月 22 日、JA あきた白神畜産部会（小森鉄雄部会長）による総会が開かれ、平成 22 年度事業報告や平成 23 年度事業計画など全４議案について協議が行われ、原案通り承認されました。

はじめに小森部会長が「畜産では昨今の BSE 問題や去年宮崎で発生した口蹄疫など厳しい状況が続いている。部会では徹底した飼育環境づくりに努め、安全・安心な白神和牛を県内外にアピールしていきたい」と挨拶しました。事業計画では生産者・行政と一体となって、更なる生産と販売促進を図り、地域一丸となって農政に取り組んでいくことが決議されました。

地域農業の発展を誓い合う青年部会総会

▲ 31 名が参加した青年部総会

得補償制度や、政府が推し進める TPP 交渉などにおいて、農業者がきっちり声を上げていくことが重要」と挨拶しました。その後行われた役員改選では、藤田清樹さん（梅内）が新会長に選出されるなど、会員らは青年部の更なる発展を誓い合いました。

また同会では、昨年実施した多収穫競作会の表彰も行われ、佐藤寛郎さん（河戸川）が最優秀賞を受賞したほか、大塚剛志さん（河戸川）と安孫子直樹さん（向能代）が優良賞を受賞しました。

JA あきた白神青年部会（児玉孝仁部会長）による第 13 回通常総会が4月 15 日、能代市のキャッスルホテル平安閣にて開催され、平成 22 年度事業報告並びに収支決算や平成 23 年度事業計画並びに収支予算など全３議案について協議され、原案通り承認されました。

はじめに児玉部会長が「去年の異常気象による経験を活かして、今年は豊作となるよう心掛けてほしい。また今年度から畑作物も対象となる戸別所

▲ 新青年部会長に選出された藤田清樹さん

蟹座（6・22～7・22） 優しい気持ちになれるため、周囲から自然と慕われるでしょう。持ち前の面倒見の良さを発揮するとグッド